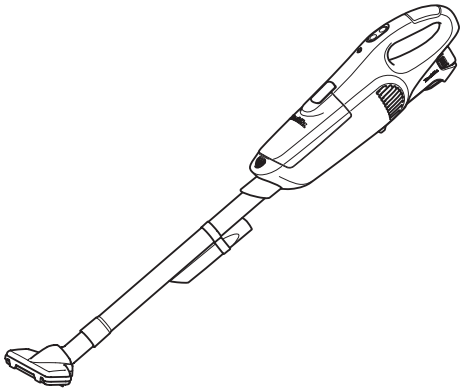
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

取扱説明書

充電式クリーナ

モデル CL072D
モデル CL102D



このたびは**充電式クリーナ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

目次

・主要機能 ---------- 3
・安全上のご注意 ---------- 4
・各部の名称および標準付属品 ---------- 14
・別販売品のご紹介 ---------- 16
・使い方 ---------- 17
　・バッテリの取り付け・取りはずし方 ---------- 17
　・バッテリ保護機能 ---------- 19
　・バッテリについて ---------- 19
　・バッテリの充電方法 ---------- 20
　・バッテリを長持ちさせるには ---------- 21
　・バッテリの回収について ---------- 21
　・充電器の点検・修理・保管について ---------- 21
　・スイッチの操作 ---------- 22
　・バッテリ切れお知らせランプ ---------- 22
　・標準付属品の使い方 ---------- 23
　・ノズル ---------- 23
　・ノズル＋ストレートパイプ ---------- 23
　・サッシ（すきま）ノズル ---------- 24
　・サッシ（すきま）ノズル＋ストレートパイプ ---------- 24
　・ちょっとした掃除に ---------- 24
　・ゴミの捨て方 ---------- 25
　・ダストバッグと紙パックについて ---------- 27
　・ダストバッグの取り付け方 ---------- 27
　・紙パックの取り付け方 ---------- 29
・保守・点検について ---------- 31
　・保管方法について ---------- 31
　・お手入れは ---------- 32
　・スポンジフィルタの取りはずし方 ---------- 33
　・スポンジフィルタの取り付け方 ---------- 33
・修理について ---------- 34
　・修理を依頼される前に ---------- 34
・充電式クリーナ 保証書 ---------- 40

主要機能

主要機能＼モデル	CL072D	CL102D
電動機	直流マグネットモータ	
バッテリ	リチウムイオンバッテリ	
	バッテリ BL7010 （容量 1.0 Ah）	バッテリ BL1015K （容量 1.5 Ah）
電圧	直流 7.2 V	直流 10.8 V
連続使用時間	HIGH（強）：約 8 分 LOW（標準）：約 16 分	HIGH（強）：約 20 分 LOW（標準）：約 30 分
集じん容量	0.5 L（ダストバッグ） 0.33 L（紙パック）	
本製品寸法	長さ 461 mm ×幅 113 mm ×高さ 146 mm （ストレートパイプおよびノズル取り付け時の長さ 984 mm）	長さ 461 mm ×幅 113 mm ×高さ 150 mm （ストレートパイプおよびノズル取り付け時の長さ 984 mm）
質量	0.98 kg （バッテリ BL7010 付、ノズル、ストレートパイプなし）	1.0 kg （バッテリ BL1015K 付、ノズル、ストレートパイプなし）

充電器	DC07SA	DC10WA
入力電圧	単相交流 100 V	
入力周波数	50-60 Hz	
入力容量	45 VA	
出力電圧	直流 7.2 V	直流 7.2-10.8 V
出力電流	直流 2.4 A	直流 2.4-1.6 A

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

安全上のご注意

JPC021-1

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。
- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

このような絵表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。

このような絵表示は、必ず実行していただく「**強制**」内容です。

※イラストは参考例です。製品によりデザインが異なりますのでご了承ください。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

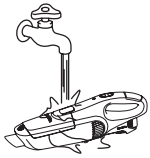
⚠警告：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠警告

- 水洗いしない。また、風呂場など湿った場所や濡れた場所で使用しない。
  - 感電や発煙の恐れがあります。



- 絶対に分解したり修理・改造しない。
  - 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

- 子供に本製品や充電器で遊ばせない。
  - 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

- クリーナの誤始動を防ぐために、次の作業の際は必ずスイッチを切り、バッテリを抜く。
  - ゴミ捨て
  - フィルタ類の清掃（お手入れ）
  - 保管
  - その他危険が予想される作業

- 本製品にバッテリを差し込む際は、スイッチが入らないように注意する。
  - スイッチに指をかけるなど、スイッチが入る状態でバッテリを装着すると、急に動きだし事故の原因になります。

- 本製品の吸込口や排気口に手、髪または身に着けたものを入れない。
  - けがの原因になります。

- 本製品の吸込口や排気口に顔を近づけない。
  - けがの原因になります。

⚠警告

・ 屋外で使わない。

・ 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検する。
  ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

・ 以下のものは吸わせない。火災やけがやモータの故障の原因となる。

引火性物質
- 油類（灯油・ガソリンなど）
- 溶剤（ベンジン、シンナーなど）
- マッチ、線香、ろうそく、熱い灰など火のついているもの、たばこの吸殻などの煙の出ているもの、および高熱のものなど
- トナーなどの可燃物
- 塗料
- 金属の切断作業および研削作業中に発生する研削火花や金属粉など
- 可燃性ガス（スプレーなど）
- じゅうたん洗浄剤などの泡状のものなど

爆発性物質
- ニトログリセリンなど

発火性物質
- アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・赤リン・黄リン・セルロイドやそのほか化学物質など、およびそれらの粉じん・ガス・蒸気

鋭利なもの
- ガラス、刃物、木片、金属、石、釘、カミソリ、押しピン、針、クリップなど

固化するものや導電性の微粉（金属粉・カーボン）
除湿剤
大量の粉末（小麦粉、灰、消火器の粉など）
人体に有害な物質（アスベストなど）、中毒症状を起こす物質
薬品類
液体や湿ったゴミ
動物などの排泄物、吐しゃ物

⚠警告

- 使用中、本製品の調子が悪かったり、異臭や発熱、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止する。
  - そのまま使用していると、けがの原因になります。お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。

- マキタが指定した付属品や別販売品以外を使用しない。
  - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品や別販売品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあります。

- 作業場の周囲状況も考慮する。
  - 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。

- 無理な姿勢で作業をしない。
  - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

- 火気や暖房器具などに近づけない。
  - 本製品の変形による短絡（ショート）、発火の原因になります。

- 引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー、ガスなど）の近くで使用したり、充電したりしない。
  - 爆発や火災の原因になります。

⚠警告

- 損傷した部品がないか点検する。

  - 使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
  - スイッチで始動、および停止操作のできない充電製品は、使用しないでください。

- 充電式クリーナは、注意深く手入れをする。

  - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

- 温度が 50 ℃を超える可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しない。

  - 本製品の変形による、短絡（ショート）、発火の原因になります。
  - 内蔵のバッテリが劣化する原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

- 使用しない場合は、きちんと保管する。

  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。

- 雨中で充電したり、ぬれた手で電源プラグやバッテリを抜き差ししない。充電器の端子に金属片や水などの異物を近づけない。

  - 感電やけがをすることがあります。

⚠警告

- 交流 100 V で充電する。

  - 昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源で充電しないでください。火災の原因になります。
  - ラベルに 発電機 の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。

- 火災の恐れがあるので、次のようなことをしない。

  - ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、たたみ、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
  - 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
  - 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

- 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに充電器の電源プラグを抜いて充電を中止する。

  - そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

- 専用の充電器以外は使用しない。

  - バッテリの液もれ、発熱、破裂の原因になります。
  - 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

- 充電器は充電以外の用途に使用しない。また、バッテリや充電器をマキタが指定した機器以外に使用しない。

- 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけない。

⚠警告

- 充電器のコードを乱暴に扱わない。

  - コードを持って充電器を運んだり、プラグコードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
  - コードを熱、油、薬品、角のある所に近づけないでください。
  - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

- 充電器のコードが傷んだり、電源プラグの挿し込みがゆるいときは使用しない。

  - 感電、短絡（ショート）、発火の原因になります。

- 充電器に使用する延長コードは、使用環境に適したものを使用する。

  - 延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm^2	30 m

  - 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

- 充電しないときは、充電器を電源コンセントから抜く。

  - 絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。

- バッテリは発熱、発火、破裂の恐れがあるので、次のようなことをしない。

  - 端子に金属類を接触させないでください。
  - 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れないでください。
  - 雨や水にぬらさないでください。
  - 分解、改造はしないでください。
  - 火中に投入しないでください。

- 高温などの過酷な条件下ではバッテリから液もれすることがあるため、もれ出た液体に不用意に触れない。

  - 万が一、バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。バッテリの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

⚠警告

- マキタ指定以外のバッテリ、改造したバッテリ（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む）を使用しない。また、バッテリをマキタが指定した製品以外で使用しない。
  - 本製品の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。

- バッテリや充電器を充電中に布などで覆わない。
  - 換気の良い場所で充電してください。発熱や破裂、発火の原因になります。

- 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しない。
  - 発熱や破裂、発火の原因になります。
  - 損傷、または使用できなくなったバッテリは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

- 使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しない。
  - 継続して使用すると、発熱や破裂、発火の原因になります。

- バッテリは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。該当するバッテリを輸送する際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従う。
  - 電力量は、バッテリ裏側の注意ラベルに記載されています。

- 使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てない。
  - 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

⚠警告

・ 十分な防じん対策をしてください。

・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。

・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

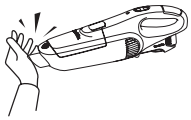
・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

⚠注意

- 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付ける。
  - 確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。

- ダストバッグ類・紙パックを正しく取り付ける。
  - ダストバッグ類・紙パックを確実に取り付けないまま使用したり、穴のあいたダストバッグ類・紙パックを取り付けての使用などは、モータ部にゴミが入り、故障および発火の原因になります。

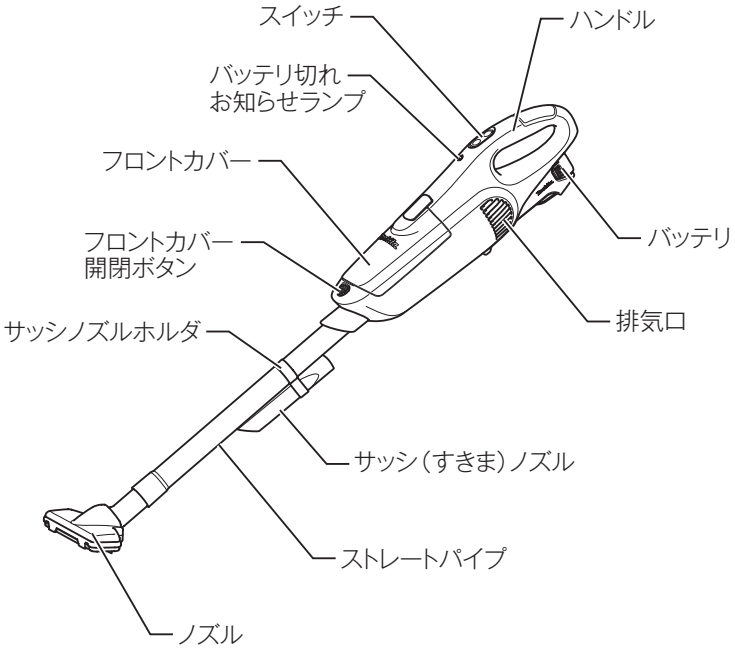
- 吸込口をふさいで長時間運転しない。
  - 過熱による本製品の変形、発火の原因になります。



- 排気口をふさがない。
  - 火災の原因になります。

- 高所で使用するときは、本製品を落下しないように注意する。また、持ち運ぶときはノズルやストレートパイプを持たないで必ず本製品のハンドルを持って運ぶ。
  - 本製品や付属品がはずれたりして落下すると、けがや故障の原因になります。
  - ハンドル以外を持って持ち運ぶと、本製品からはずれるなど落下の原因になります。

各部の名称および標準付属品



各部の名称および標準付属品

製品の組み合わせおよび標準付属品

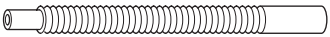
標準付属品＼モデル	CL072DZ	CL072DS
バッテリ（容量）	×	○ バッテリ BL7010（1.0 Ah）
充電器（充電時間）	×	○ DC07SA（約 30 分）
ノズル	○	○
ストレートパイプ	○	○
サッシノズル	○	○
サッシノズルホルダ	○	○
ダストバッグ（本製品取り付け）	○	○
紙パック（10 枚）	○	○

標準付属品＼モデル	CL102DZ	CL102DW
バッテリ（容量）	×	○ バッテリ BL1015K（1.5 Ah）
充電器（充電時間）	×	○ DC10WA（約 55 分）
ノズル	○	○
ストレートパイプ	○	○
サッシノズル	○	○
サッシノズルホルダ	○	○
ダストバッグ（本製品取り付け）	○	○
紙パック（10 枚）	○	○

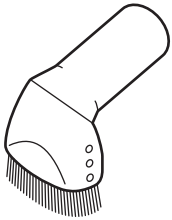
別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

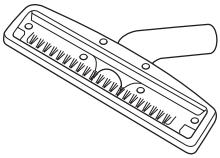
・ フレキシブルホース（アイボリー）
部品番号：A-37568



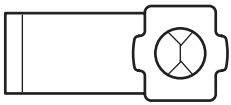
・ ラウンドブラシ（アイボリー）
部品番号：A-37471



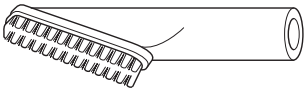
・ じゅうたん用ノズル（アイボリー）
部品番号：A-37546



・ 紙パック（10 枚入）
部品番号：A-48511



・ 棚ブラシ（アイボリー）
部品番号：A-37552



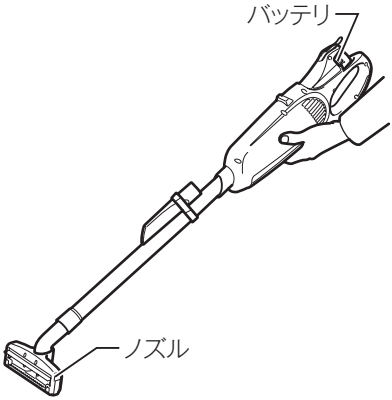
・ バッテリ BL7010（容量 1.0 Ah）
部品番号：A-47494

・ バッテリ BL1015K（容量 1.5 Ah）
部品番号： A -77855

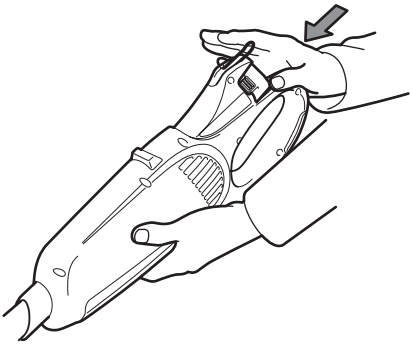
バッテリの取り付け・取りはずし方

取りはずし方

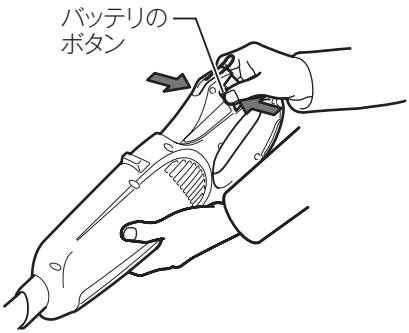
1. 図のように本製品を裏返し、バッテリ部を上に向けます。このときノズルを床に着け、もう片方の手で下からしっかり支えます。



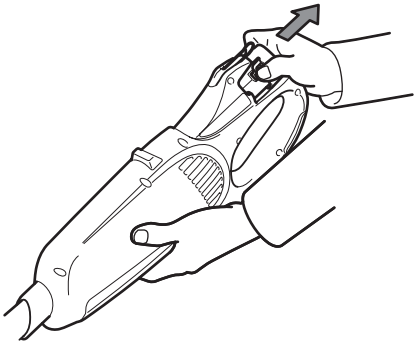
2. 図の部分に手のひらを密着させます。



3. 手のひらを密着させたまま、バッテリのボタンを親指と人指し指でつかみます。

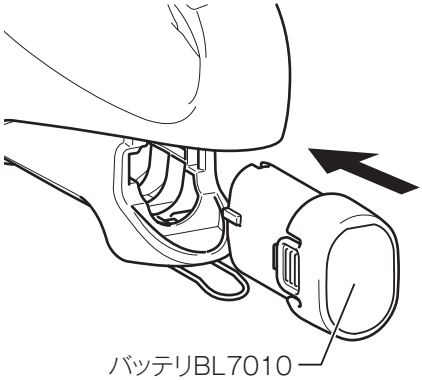


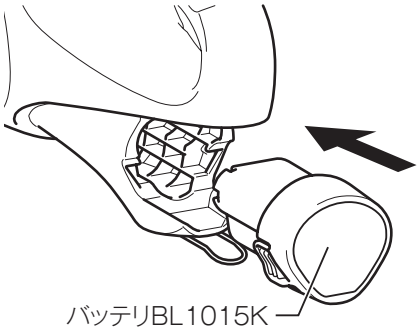
4. 手のひらを支えにして矢印の方向に引き抜きます。



取り付け方

・ 本製品に対してバッテリを図のような向きにして、奥まで確実に挿入します。





バッテリ保護機能

バッテリ寿命を長くする目的で出力を自動停止する保護機能がついています。本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますがこれはバッテリの保護機能によるものであり故障ではありません。

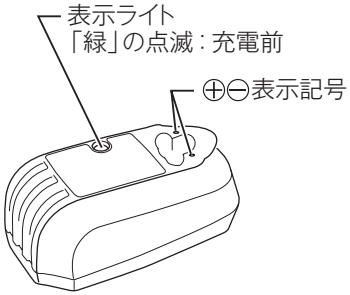
・ 本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。
このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取り除いてください。再度スイッチを操作すれば再びご使用になれます。
・ バッテリの容量が少なくなるとモータが自動停止します。パワーが落ちてきたと感じたら本製品よりバッテリを取りはずし、バッテリを充電してください。

バッテリについて

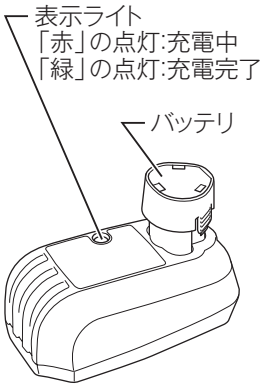
・ お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていません（スイッチを操作すると本製品は動く恐れがありますので注意してください）。ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。

バッテリの充電方法

・ 充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに挿し込んでください。表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
・ バッテリを充電器に挿入してください。挿入は⊕⊖を合わせて充電器の挿入ガイドにそって充電器の底にあたるまで入れてください。



・ バッテリを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し充電を開始します。
・ 充電が完了すると充電表示ライトが「緑」の点灯に変わります。
・ バッテリを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



注

・ 使用直後のバッテリや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときはバッテリの温度が下がると充電を開始します。充電前にバッテリを冷やすことをおすすめします。
・ 充電開始後、表示ライトが「赤」、「緑」の交互点滅を繰り返した場合や、バッテリを挿入しても「緑」点滅になる場合はバッテリの寿命またはゴミ詰まりで充電できません。
・ 次のような状態のときは、充電器またはバッテリに故障があると考えられますので、充電器とバッテリの両方を、お買い上げの販売店、または当社営業所にお持ちください。
  ×充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに挿し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
  ×バッテリを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
  ×充電開始後、充電表示ライトが「赤」に点灯した後、90 分以上たっても充電が完了しない（表示ライトが「緑」に変わらない）。

バッテリを長持ちさせるには

・ 吸い込みが弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は 10 ℃～ 40 ℃の範囲で行ってください。
・ 使用直後などの熱くなったバッテリは、冷やしてから充電してください。

バッテリの回収について

・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

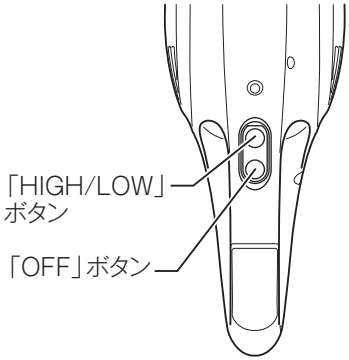
リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管について

・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。修理・点検はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
  × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
  × 温度や湿度の急変する所
  × 湿気の多い所
  × 直射日光の当たる所
  × 揮発性物質の置いてある所

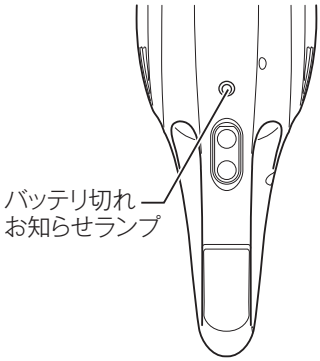
スイッチの操作

・「HIGH/LOW」ボタンを押すと、本製品が HIGH（強）モードから作動します。再度「HIGH/LOW」ボタンを押すと、LOW（標準）モードで作動します。もう一度押すと、HIGH（強）モードで作動します。停止させるには「OFF」ボタンを押してください。



バッテリ切れお知らせランプ

・ 使用中にバッテリの容量が少なくなるとバッテリ切れお知らせランプが点滅します。
・ さらに、バッテリの容量が少なくなるとモータが自動停止し、バッテリ切れお知らせランプが約 10 秒点灯します。このときはバッテリを充電器で充電してください。



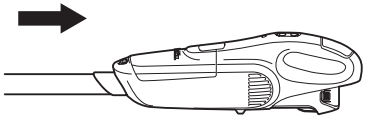
注

・ バッテリ切れお知らせランプの点灯、点滅のタイミングは、周囲の温度やバッテリの状態によって変化します。

標準付属品の使い方

⚠ 注意

ノズルなどの標準付属品は使用中に抜けないように、ねじりながらしっかりと挿し込んで取り付けてください。

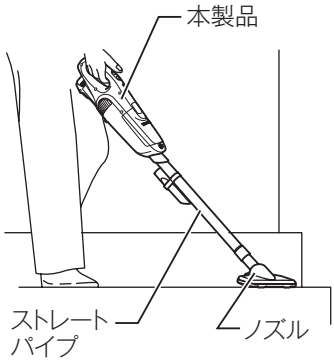


ノズル

・ テーブル・家具・棚などの上を掃除されるときは、ノズルを本製品に直接挿し込んで、ご使用ください。

ノズル＋ストレートパイプ

・ たたみ・じゅうたん・床など低い所を掃除されるときは、本製品とノズルの間にストレートパイプを挿し込めば立ったままの姿勢で楽に掃除ができます。

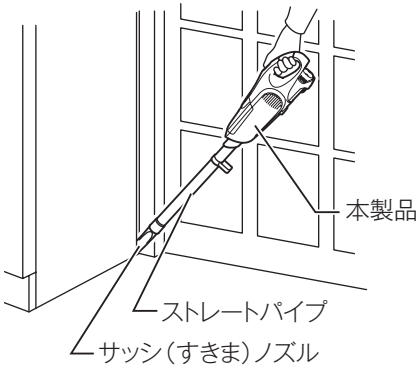


サッシ（すきま）ノズル

・ 自動車の中や家具のすきまおよびサッシの溝などを掃除されるときは、サッシ（すきま）ノズルを本製品に直接挿し込んで、ご使用ください。

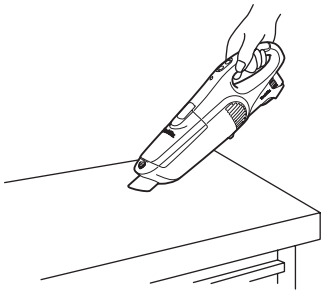
サッシ（すきま）ノズル＋ストレートパイプ

・ 家具の奥など本製品があたって入らないときや高い所のすきまなどを掃除されるときは、サッシ（すきま）ノズルと本製品の間にストレートパイプを挿し込んで、ご使用ください。



ちょっとした掃除に

・ こぼした粉などの吸い込みは直接本製品でできます。



注

・ ゴミをためすぎますと吸込力が低下しますので、早目にゴミを捨ててください。

⚠ 警告

フィルタ類を交換、清掃する際は、必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリを抜いてください。

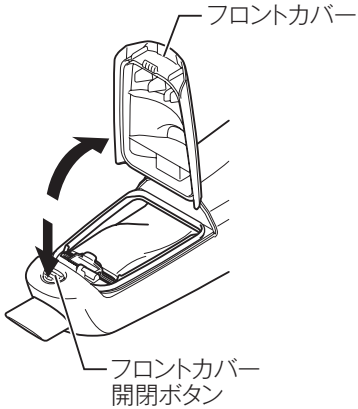
・ バッテリを取り付けたまま、不意にスイッチが入るとファンが回りだし、けがや故障の原因になります。

指や棒などをファンに近づけないでください。

・ けがや故障の原因になります。

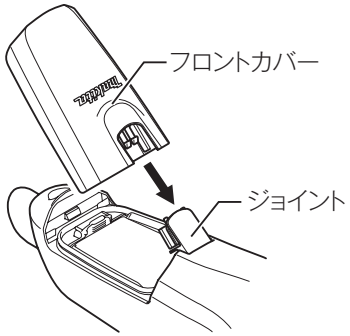
ゴミの捨て方

1. フロントカバー開閉ボタンを押し、フロントカバーを開けます。
   “カチッ” と音がするまで開けるとその状態で固定できます。

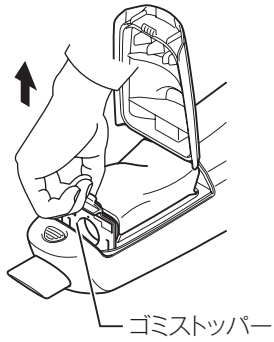


注

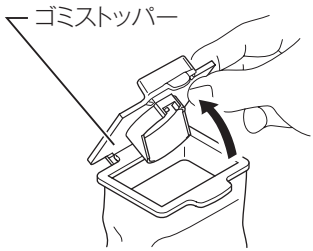
・ フロントカバーを開ける際、力をかけて 90 °以上開けようとすると、破損防止のため本製品からフロントカバーがはずれる構造になっています。はずれた場合は図のようにジョイントにフロントカバーを挿し込んでください。
・ フロントカバーを閉めるときには指をはさまないように注意してください。



2. オレンジ色のゴミストッパーとダストバッグをいっしょに引き抜きます。



3. ゴミストッパーを取りはずしてからゴミを捨てます。



注

- ゴミストッパーを誤って捨てないでください。

注

- ゴミをためすぎますと吸込力が低下しますので、早目にゴミを捨ててください。
- 本製品ケース内のゴミは必ず捨ててください。本製品内部のスポンジフィルタの目詰まりや、モータ故障の原因になります。
- ゴミストッパーはダストバッグもしくは紙パックのどちらを取り付ける際にも使用しますので、捨てないでください。

⚠注意

・ ダストバッグ類・紙パックを正しく取り付ける。

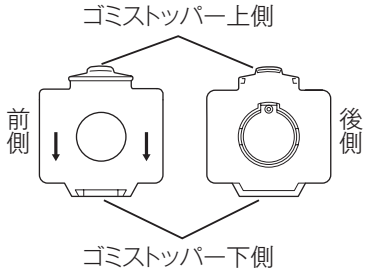
・ ダストバッグ類・紙パックを確実に取り付けないまま使用したり、穴のあいたダストバッグ類・紙パックを取り付けての使用などは、モータ部にゴミが入り、故障および発火の原因になります。

ダストバッグと紙パックについて

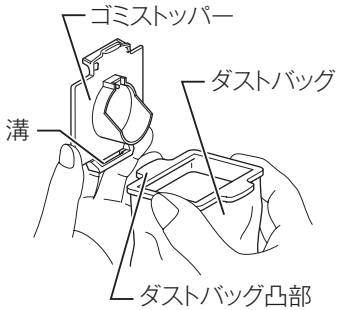
・ ご使用の際には、ダストバッグまたは紙パックのどちらかを取り付けます。
・ ゴミストッパーはダストバッグまたは紙パックのどちらを取り付ける場合も使用します。
・ ダストバッグは洗浄して繰り返し使用できます（32 ページ参照）。
・ 紙パックは使い捨てです。ゴミがたまりましたら紙パックごと捨ててください。

ダストバッグの取り付け方

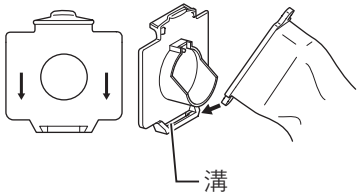
・ ダストバッグの取り付けにはゴミストッパーを使用します。上下方向の区別があるのでお気を付けください。



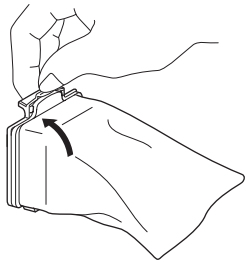
1. 図のようにゴミストッパー下側の溝にダストバッグ凸部を挿し込みます。



2. ダストバッグには上下方向の区別はありません。どちらか一方の凸部をゴミストッパー下側の溝に挿し込んでください。

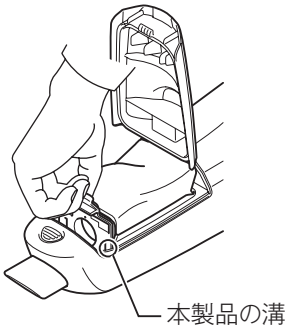


3. ゴミストッパーとダストバッグの枠を重ね合わせます。

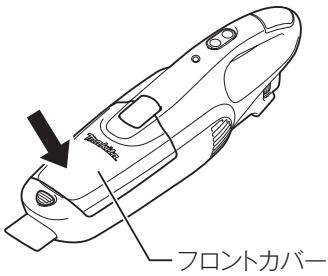


4. ゴミストッパーの矢印に合わせてゴミストッパーとダストバッグをいっしょに本製品の溝に奥までしっかり挿し込みます。

5. ダストバッグの布側を本製品ケースに入れます。

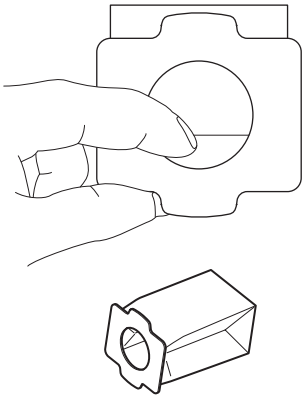


6. フロントカバーをしっかり閉めます。

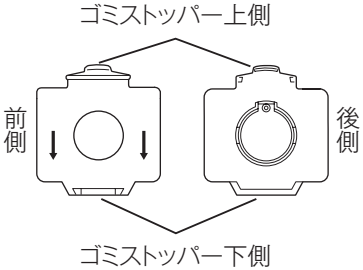


紙パックの取り付け方

1. 紙パックをご使用の際は、ゴミストッパーにセットする前に紙パックの入り口を広げてください。

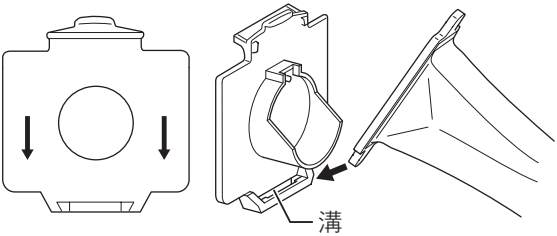


・ 紙パックの取り付けにもゴミストッパーを使用します。上下方向の区別があるのでお気を付けください。

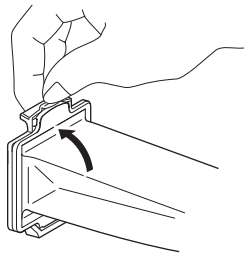


2. 図のようにゴミストッパー下側の溝に紙パック凸部を挿し込みます。

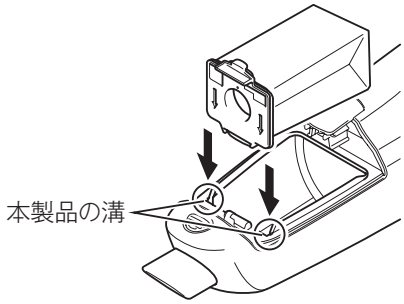
3. 紙パックには上下方向の区別はありません。どちらか一方の凸部をゴミストッパー下側の溝に挿し込んでください。



4. ゴミストッパーと紙パックの枠を重ね合わせます。

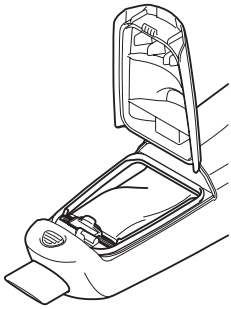


5. ゴミストッパーの矢印に合わせてゴミストッパーと紙パックをいっしょに本製品の溝に奥までしっかり挿し込みます。



6. 紙パックの袋側を本製品ケースに入れます。
・ 紙パックは使い捨てです。ゴミがたまりましたら紙パックごと捨ててください。

7. フロントカバーをしっかり閉めます。

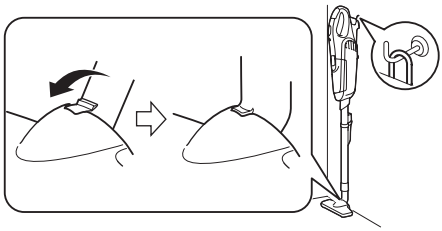


注

- ダストバッグ、紙パックのどちらかを取り付けてご使用ください。
- クリーナの紙パックは、本体性能を維持するための大切な機能部品です。そのため、純正以外の紙パックを使用した場合はモータが発煙、発火する恐れがあります。
- 紙パック取り付け時は、口元の厚紙を曲げないように取り付けてください。
- ゴミストッパーは捨てないで繰り返しご使用ください。

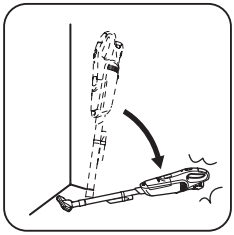
保管方法について

・ 保管するときは、ノズルの凹凸をはめ合わせ、本製品裏側のハンガーをおこし、市販のフックなどに引っ掛けてください。



注

・ 市販のフックなどを使用せずに立て掛けると、転倒して故障やけがの恐れがあります。



保守・点検について

⚠ 警告

ゴミ捨てやフィルタ類を交換、清掃する際は、必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリを抜いてください。

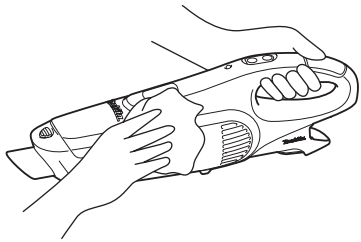
・ バッテリを取り付けたまま、不意にスイッチが入るとファンが回りだし、けがや故障の原因になります。

指や棒などをファンに近づけないでください。

・ けがや故障の原因になります。

お手入れは

・ 本製品の汚れは、布に薄めた中性洗剤を少量しみ込ませてふきとってください。
・ 吸い込み口、ダストバッグ収納部、ゴミストッパーに付いたゴミもふきとってください。

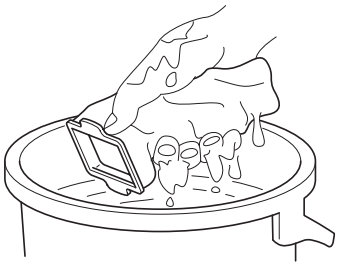


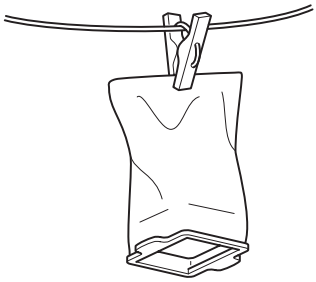
注

・ **ガソリン、ベンジン、シンナーなどは、変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。**

・ ダストバッグが汚れて吸込力が低下したときは、ダストバッグを石けん水でもみ洗いし、十分に乾燥させてからご使用ください。

※紙パックは使い捨てです。

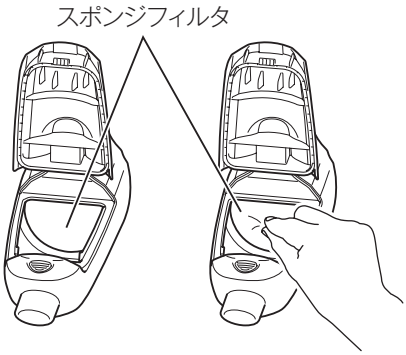




・ スポンジフィルタの汚れは、本製品からスポンジフィルタを抜き取り、はたくか水洗いしてください。

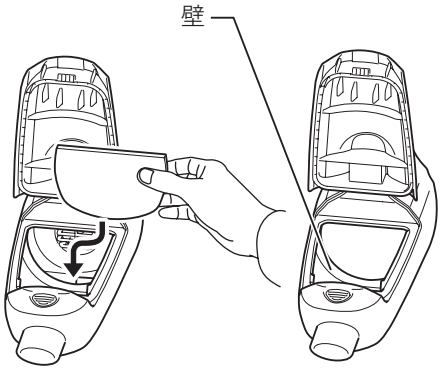
スポンジフィルタの取りはずし方

・ ダストバッグを取りはずし、ダストバッグ収納部の奥に見えるスポンジフィルタをつまんで抜き出します。



スポンジフィルタの取り付け方

・ ダストバッグ収納部奥の壁の内側にスポンジフィルタの端を全周押し込みます。



注

・ スポンジフィルタのお手入れをした後は、必ず本製品にスポンジフィルタを装着してください。また、水洗いをした場合には、十分に乾燥させてから装着してください。モータ故障の原因になります。

修理について

修理を依頼される前に

症状	調べるところ	直し方
吸込力が弱い	・ダストバッグまたは紙パックのゴミが一杯になっていませんか。 ・ダストバッグが目詰まりしていませんか。 ・紙パックが目詰まりしていませんか。 ・バッテリが消耗していませんか。	・ゴミを捨ててください。 ・ダストバッグをはたくか、水洗いしてください。 ・紙パックを交換してください。 ・充電してください。
動かない	・バッテリが消耗していませんか。	・充電してください。

注

- **上表に従ってお調べいただいても直らないときはバッテリが寿命の可能性があります。その場合さらに充電されますと充電器も故障する場合がありますので、修理をお申し付けください。**

- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理を依頼される場合は、**クリーナ本製品の他に充電器も一緒に**お持ちください。
- 保証期間中は、保証書の規定に従って修理させていただきますので、恐れ入りますが製品に保証書を添えてご持参ください。
- 保証期間が過ぎているときは販売店、または当社営業所にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。

メモ

メモ

メモ

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

882533M5
IWT